

# 先行事例の紹介

## ➤ 導入機能について

- 多様な機能を付加した整備事例
- 同規模以下の自治体による整備事例
- 町の複合施設整備によるまちづくり事例
- その他に導入が考えられる施設例

導入機能について

## 多様な機能を付加した庁舎事例

庁舎本来の機能だけでなく、飲食、交流、憩い等の追加機能を付加し、まちづくりの核となる庁舎事例

# 1. 新潟県 長岡市役所(アオーレ長岡)



- 人口: 277,069人(104,782世帯)
- 構造: 鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造
- 規模: 地上4階、地下1階
- 敷地面積: 14,938.81m<sup>2</sup>
- 建築面積: 12,066.08m<sup>2</sup>
- 延床面積: 35,485.08m<sup>2</sup>
- 整備費: 131億円
- 巨大な屋根付き広場である「ナカドマ」を中心に、5,000人を収容するアリーナ、市民交流スペース、コンビニ、ファストフード、銀行そして市役所が一体に混じり合う、新しいかたちの公共空間。
- 「ナカドマ」は中心市街地の大通りに面し、24時間開放。結婚式や成人式などのイベントも行う。
- 市役所コンシェルジュを配置。総合窓口は平日夜間や土日祝日も開館。

# 1. 新潟県 長岡市役所（アオーレ長岡）



ナカドマ（屋根付広場）



障がい者施設共同運営のカフェ



# 1. 新潟県 長岡市役所(アオーレ長岡)



シアター



市民交流ホールA

# 1. 新潟県 長岡市役所(アオーレ長岡)



コンビニ



ファストフード店



議場



アリーナ



## 2. 愛知県 犬山市役所



- 人口:74,811人(30,056世帯)
- 構造:鉄骨造
- 規模:地上7階、地下1階
- 敷地面積:8,826.35㎡
- 建築面積:2,449㎡
- 延床面積:9,754㎡
- 整備費:31億円
- 1階に**レストラン**や市民プラザ、2階に市民交流ロビーやラウンジなど市民が利用できるスペース、6階には**犬山城が一望できる展望ロビー**が設けられ、市民に開放されている。
- 団体等が利用できる会議室が5室あり、開庁日は午後6時～9時、閉庁日は午前9時～午後9時まで1時間500円か800円で利用できる。

## 2. 愛知県 犬山市役所



エントランス



最上階展望ロビー



### 3. 新潟県 燕市役所



- 人口：81,802人(28,712世帯)
- 構造：鉄筋コンクリート造
- 規模：地上4階、地下1階
- 敷地面積：35,932.63㎡
- 建築面積：6,604.60㎡
- 延床面積：11,443.66㎡(庁舎棟)
- 整備費：39.3億円
- 総合証明窓口の設置と受付番号の表示化。
- フロアマネージャー(赤い腕章の案内係)を配置。
- オープンでワンルームの執務空間を確保し、将来の機構改革や毎年の異動に柔軟に対応。
- まちづくり広場やスカイラウンジなど、市民の憩いの場を設置。

# 3. 新潟県 燕市役所



配置図



まちづくり広場



エントランスホール



# 3. 新潟県 燕市役所



窓口



スカイラウンジ



執務室

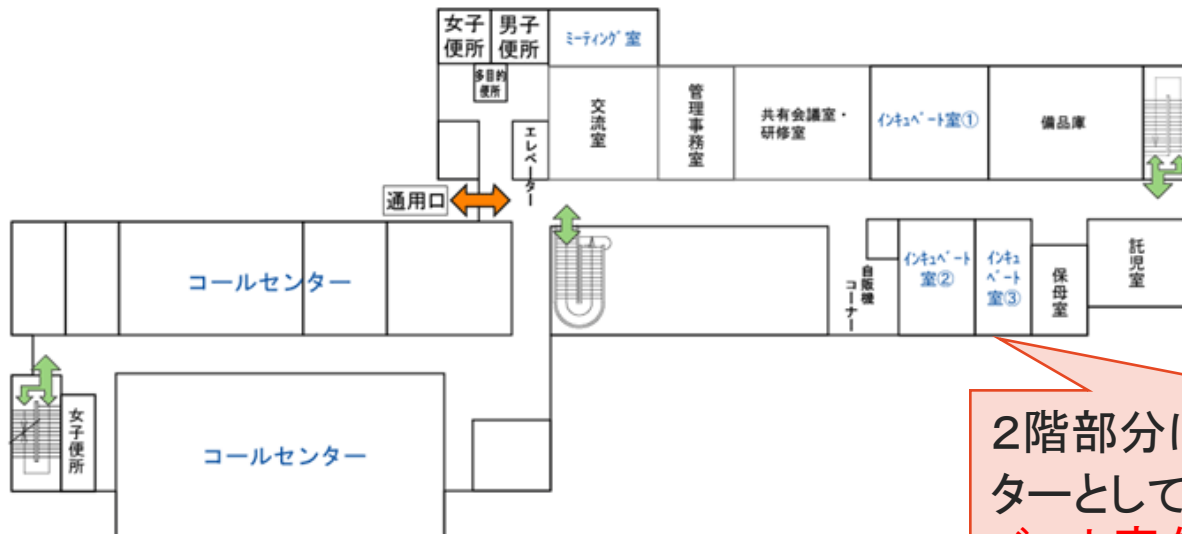


待合スペース



# 4. 沖縄県 宮古島市役所 城辺庁舎

- 人口: 54,473人 (25,502世帯)
- 規模: 地上2階
- 延床面積: 965.25㎡
- 宮古島市におけるIT関連産業の立地及び事業化を促進し、新たな雇用機会の創出と地域の活性化を図る事を目的として整備



2階部分は、宮古島市IT産業センターとして利用しており、**インキュベーション室を完備**

## 5. 東京都 町田市役所



- 人口:426,648人  
(188,406世帯)
- 規模:地下1階地上10階
- 敷地面積:15,969㎡
- 建築面積:7,661㎡
- 延床面積:41,510㎡
- 整備費:約150億円
- 街路空間に面した低層部には、**カフェや店舗、レストラン**などの市民利用エリアが配置。
- ワンストップロビーは、来庁者の利用頻度の高い窓口と**市民利用施設**を周りに配置した回遊性のある3層吹き抜け空間。
- 屋上庭園へと連続する立体的な**緑に包まれた公園庁舎**であり、外壁負荷の低減に配慮し、方位に応じて切り替えた外装計画をしている。

# 5. 東京都 町田市役所



コンビニエンスストア



カフェ



# 5. 東京都 町田市役所



イベントスタジオ



総合案内



ワンストップロビー

# 5. 東京都 町田市役所



市民協働おうえん広場



食堂

導入機能について

## 同規模以下の自治体による庁舎事例

広川町の規模と同規模またはそれ以下の自治体によって整備された庁舎事例



## 6. 熊本県 山都町役場



- 人口: 14,399人
- 構造: 鉄筋コンクリート造
- 規模: 地上3階
- 建築面積: 1,933.59m<sup>2</sup>
- 延床面積: 4,792.97m<sup>2</sup>
- 整備費: 14.2億円
- 山間にある山都町の趣をイメージしたデザイン。
- 省エネルギー対策を徹底するため、かぎ型の形状を採用。
- 内装には町有材のひのきを採用。
- 敷地工程差を利用し、いずれのフロアからも出入りが可能(緊急時避難にも考慮)。
- 組織変更に柔軟に対応するため、執務室は間仕切りを出来る限り造らない。

# 6. 熊本県 山都町役場





# 7. 佐賀県 白石町役場



回廊

- 人口: 24,450人 (7,704世帯)
- 構造: 鉄筋コンクリート造
- 規模: 地上3階
- 建築面積: 3,885.43㎡ (庁舎) 2,278.02㎡
- 延床面積: 7,933.88㎡ (庁舎) 6,301.96㎡
- 整備費: 20.9億円
- 2つの「エコボイド」とガラスの階段室が建物を貫き、効果的に自然換気を促すとともに、各階のラウンジや執務エリアにやわらかな光と開放感を与え、**住民と職員の活動・交流の場**に豊かな環境を実現。
- 敷地に沿って緩やかに円弧を描く「回廊」や「テラス」、「エントランス大庇」といった様々な半屋外ゾーンの設えにより、**隣接する都市公園に融和**し、住民の多様な利用形態に 대응する施設となっている。



# 7. 佐賀県 白石町役場



執務室

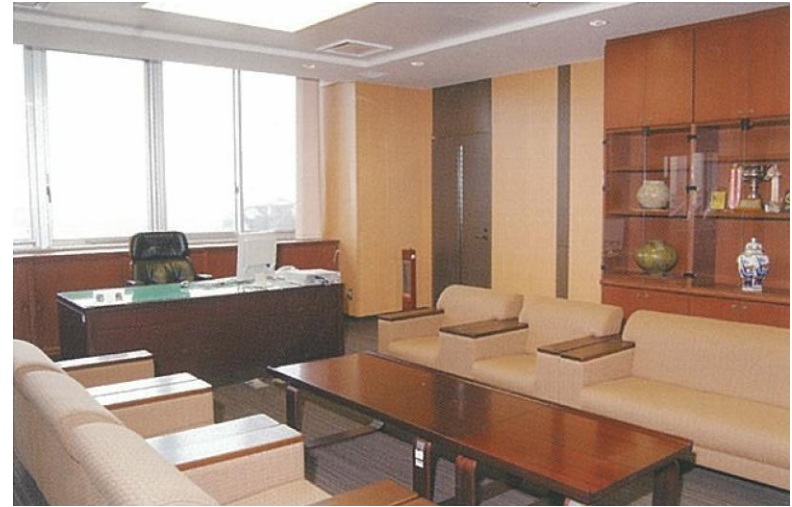


待合ラウンジ

# 7. 佐賀県 白石町役場



議場



町長室



コミュニケーションラウンジ



大会議室



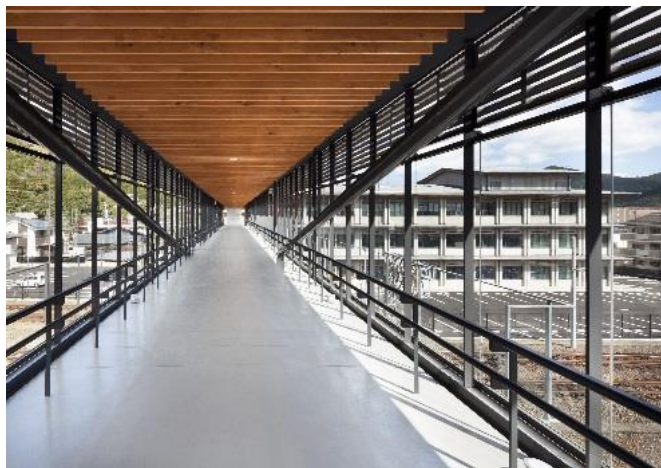
# 8. 高知県 四万十町役場



- 人口: 18,181人 (8,648世帯)
- 構造: 鉄筋コンクリート造/鉄骨造/木造
- 規模: 地上3階
- 敷地面積: 8,900m<sup>2</sup>
- 延床面積: 6,100m<sup>2</sup>
- 整備費: 34.6億円
- 西庁舎は役場機能、東庁舎は町民支援機能と議会機能を持たせ、それらをJR線路上空の自由通路でつないだ特徴ある機能構成。
- 使用した木材はすべてが町有林材、町内の工場による製材を用いている。



回廊



自由通路



# 8. 高知県 四万十町役場



エントランス



東庁舎



総合案内



議場

導入機能について

## 町の複合施設整備によるまちづくり事例

庁舎に限らず、民間の創意工夫を取り入れながら、まちづくりの核となる施設を整備した事例

# 9. 岩手県 紫波町 オガールプロジェクト

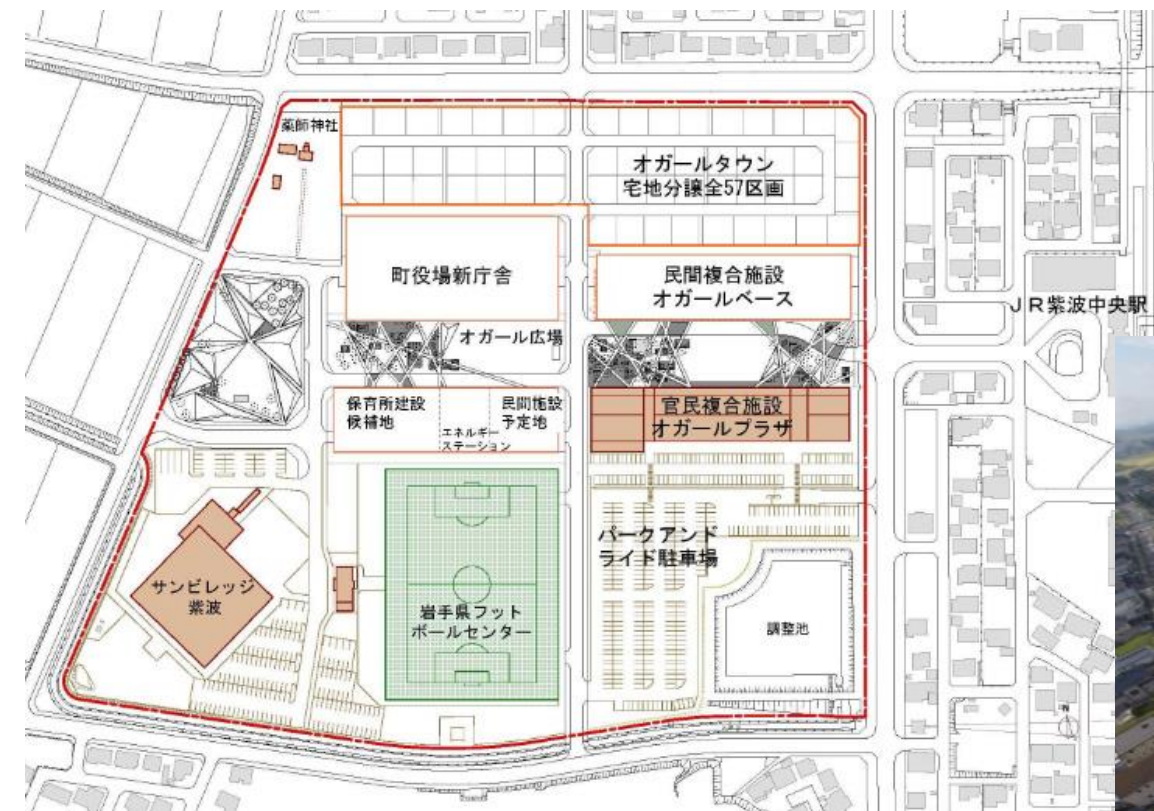


オガール広場

- 人口:33,674人(11,687世帯)
- 敷地面積:21.2ha(町有地10.7ha)
- 整備費:23.7億円(公共分)
- 10年間未活用だった町有地10.7haをPPP手法で整備
- 現在では、年間80万人が訪れる
- 中核施設「オガールプラザ」は、情報交流館(図書館+地域交流センター)、子育て支援センター、民営の産直販売所、カフェ、居酒屋、医院、学習塾などで構成される官民複合施設
- 民間活用想定面積は約4.5ha



# 9. 岩手県 紫波町 オガールプロジェクト



施設配置

鳥瞰図



- **オガールプラザ** 官民複合施設。町立情報交流館(図書館)、情報交流館、子育て支援センター、民営の産直販売所、カフェ、居酒屋、医院、学習塾など。2012年6月開業(情報交流館は同年8月)
- **オガールベース** 民間複合施設。バレーボール専用体育館、宿泊施設、コンビニエンスストアなど店舗。2014年7月開業
- **紫波町役場** PFIによる整備。2015年5月完成予定
- **オガール広場、大通公園** 紫波町が整備。2012年8月から14年7月にかけて整備完了
- **オガールタウン** 紫波町が造成、分譲する住宅地。全57戸。2013年10月分譲開始
- **エネルギーステーション** 民間事業。オガールベース、タウン、町役場にバイオマスによる熱供給。2014年7月完成
- **岩手県フットボールセンター** 日本サッカー協会公認グラウンド、施設には岩手県サッカー協会オフィスなど。2011年4月開設
- **サン・ビレッジ紫波** 多目的体育館。オガールプロジェクト始動前の1999年にオープン

## 9. 岩手県 紫波町役場



- 人口：33,674人(11,687世帯)
- 構造：(庁舎)木造、一部鉄筋コンクリート造
- 規模：(庁舎)地上4階、地下1階 ※木造部分は地上3階
- 建築面積：(庁舎)2,584.05㎡
- 延床面積：(庁舎)6,650.43㎡
- 整備費：21億円(BTO方式)
- PFI事業として、民間企業の経営ノウハウの活用により、設計・建設・運営維持管理を一体的に行うことにより、事業コストを削減。



# 9. 岩手県 紫波町役場



来庁者待合スペース



はつらつホール



# 9. 岩手県 紫波町役場



執務室



大会議室（定員96人）



町長室



議場

## 導入機能について

### その他に導入が考えられる機能例

その他、民間ニーズが高く、庁舎への導入が考えられる機能例

# 10. その他民間アイデア(健康施設)

※写真はイメージ



健康増進施設 (フィットネススタジオ)



診療所 (クリニック)



温浴施設 (スパ)



# 11. その他民間アイデア(子育て支援機能)

※写真はイメージ



子供用スペース



保育所



料理教室 (クッキングスタジオ)